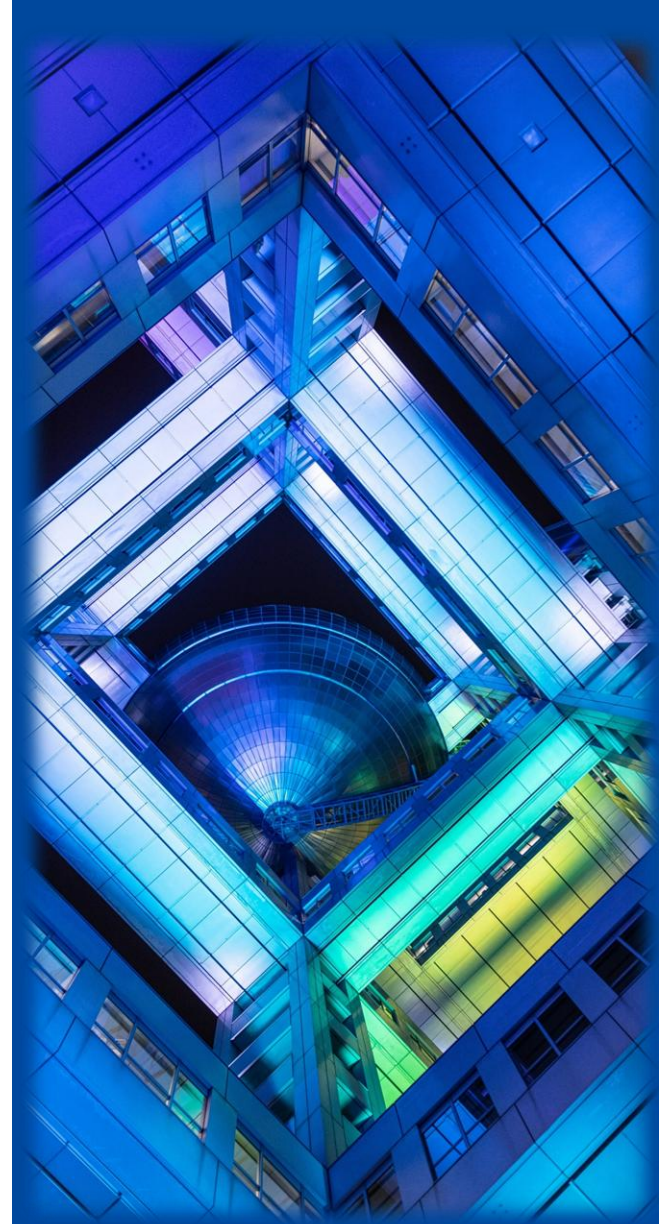


TCFD提言 に基づく情報開示 -目標の進捗状況-



フジ・メディア・ホールディングス

2026年10月13日



指標と目標 (2023年5月公表)

当社グループは、気候変動が経営に及ぼす影響を評価・管理するため、下記の通り指標と目標を設定します。

指標

温室効果ガス (=CO₂) 排出量 (Scope1,2※1※2)

対象範囲

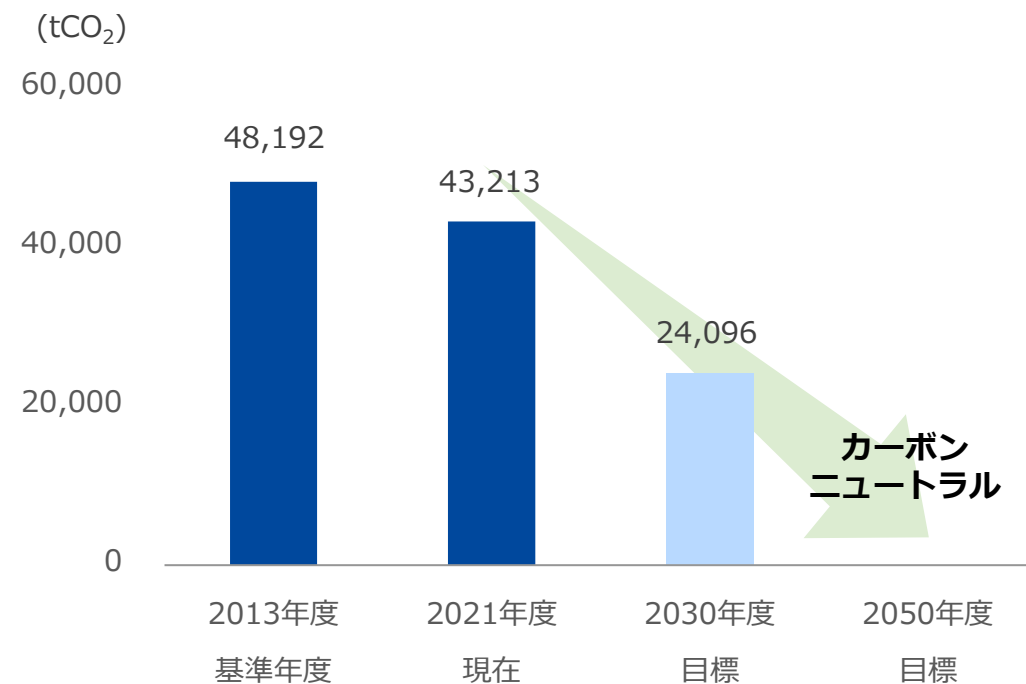
フジテレビジョン、サンケイビル、dinos

目標

- ① 2030年度までに**2013年度比50%減を実現**
- ② 2050年度までに**カーボンニュートラル※3を実現**

上記達成に向けて、2023年度にフジテレビ本社ビル、
湾岸スタジオで、非化石証書の調達などにより
実質再エネ電力100%を目指します

CO₂排出量の推移と目標 (Scope1+2)



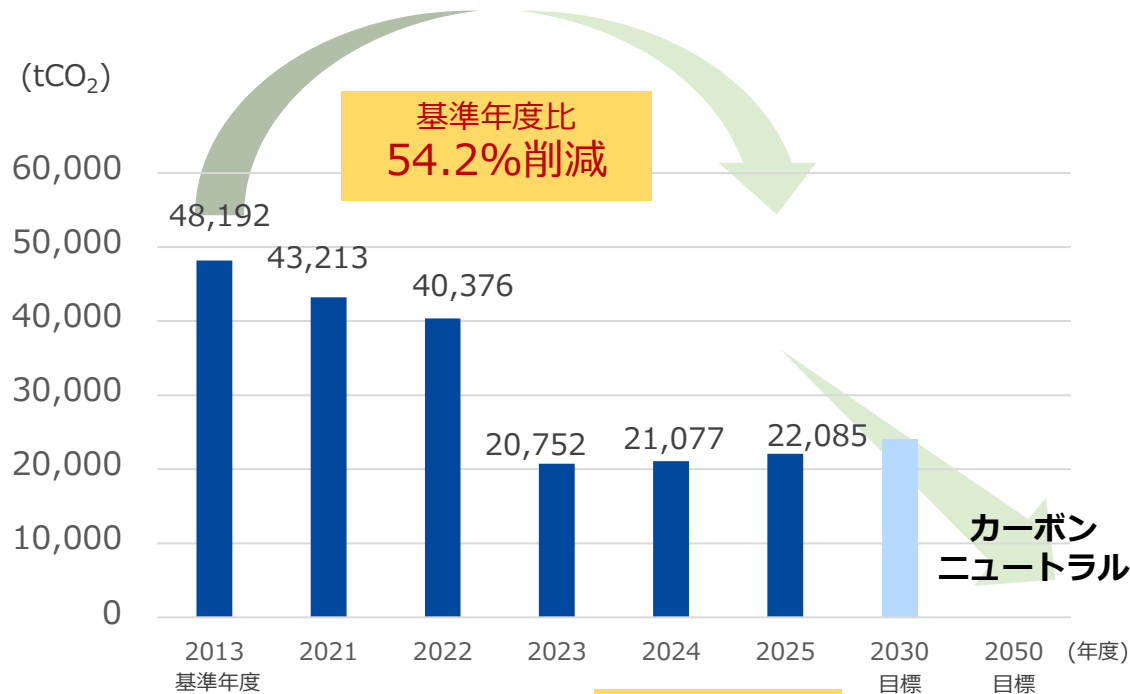
※1 Scope1 : 燃料消費に伴う排出量 (直接排出)

※2 Scope2 : 購入した電力・熱の使用に伴う排出量 (間接排出)

※3 出来る限り排出削減した結果、排出せざるを得なかった分を吸収または除去し、全体としてCO₂排出をゼロにする

指標と目標（進捗）カーボンオフセット後の排出量

2025年度グループ※CO₂排出量（Scope1+2）は 基準年度比54.2%減・前年比4.8%増



※対象範囲

フジテレビジョン、サンケイビル、dinos

フジテレビのカーボンオフセットを反映した**グループ排出量**は基準年度比**54.2%の削減**となりました。

2030年度のグループ目標としていた2013年度比50%削減は、フジテレビがカーボンオフセットを開始した2023年度に前倒しで達成し、2025年度も目標水準を維持しています。

※フジテレビのカーボンオフセット前の実績値に基づいた排出量推移については4ページをご参照ください。

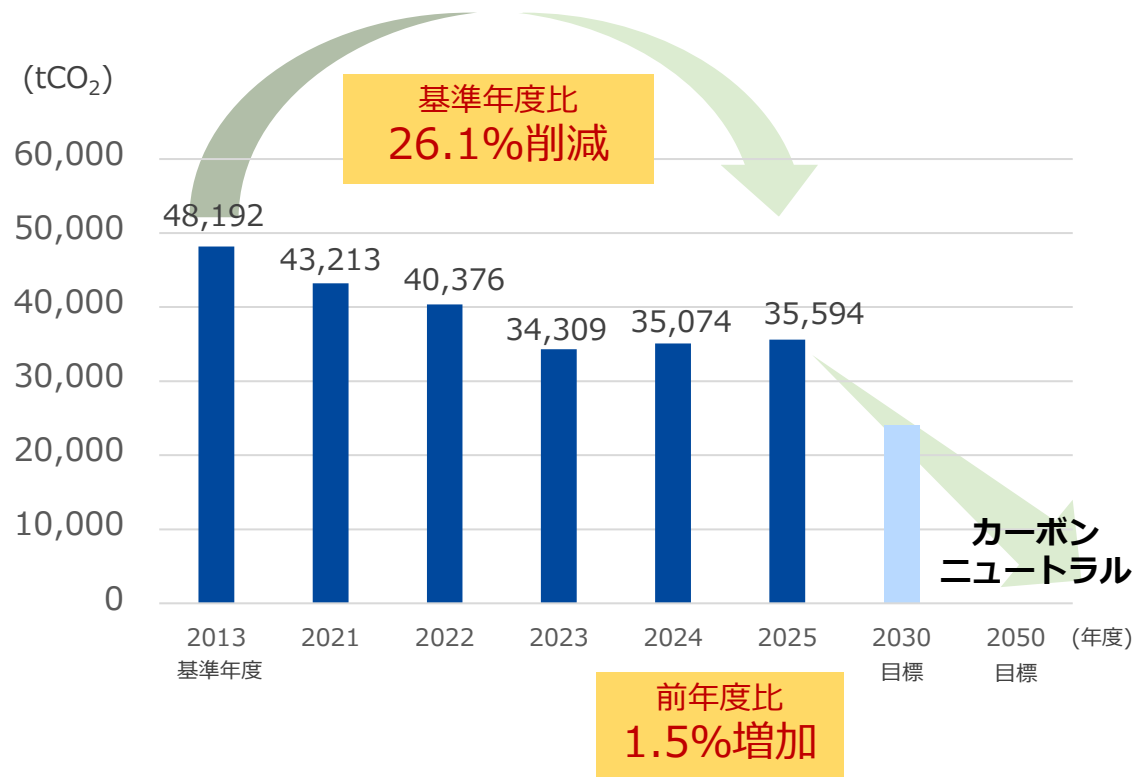
※フジテレビのカーボンオフセット詳細につきましては、5ページをご参照ください。

<前年からの増加要因>

集計対象社のうちサンケイビルにおいて排出量が前年比増加となりました。主な要因は、サンケイビルにおける物件取得に伴う排出量の増加によるものであり、保有資産の構成変化が反映されています。このため、グループとしても前年度比**4.8%の増加**となりました。

指標と目標（進捗） フジテレビのカーボンオフセット前の排出量

2025年度グループ※CO₂排出量（Scope1+2）は
基準年度比26.1%減・前年比1.5%増



※対象範囲

フジテレビジョン、サンケイビル、dinos

2025年度において基準年度(2013年度)比**26.1%の削減**となりました。なお、本数値はフジテレビの排出量についてカーボンオフセット前の実績値を採用しています。

(参考)オフセット分を加味したグループ排出量は基準年度比**54.2%の削減**となっています。

<前年からの増加要因>

集計対象社のうちサンケイビルにおいて排出量が前年比増加となりました。主な要因は、サンケイビルにおける物件取得に伴う排出量の増加によるものであり、保有資産の構成変化が反映されています。このため、グループとしても前年度比**1.5%の増加**となりました。

引き続き、外部環境要因を加味しながら事業活動における一層のエネルギー消費量の削減に努めて参ります。

フジテレビのカーボンオフセット実施状況

	(tCO ₂)		
	2023年度	2024年度	2025年度
オフセット分	13,475	13,997	13,509
その他	3,069	3,647	3,739
合計	16,544	17,644	17,248

- ・ フジテレビでは、事業活動における電気使用量の削減や日常的な節電活動を徹底し、社屋設備の省エネ機器への転換を計画的に進めております。
- ・ 2025年度は、大規模修繕に伴う設備更新による省エネルギー化の効果等により、フジテレビのCO₂排出量は前年度から減少しました。
- ・ 省エネ・節電の取り組みを進めてもなお残る不足分について、2023年度より非化石証書を購入し、使用電力の実質100%再エネ化を実現しております。
- ・ 「その他」には、空調用の熱源・都市ガス・災害発生時などに使用する非常用発電機燃料などが含まれます。
- ・引き続き、省エネ・節電の自助努力を最優先に進めながら、外部環境要因を加味しつつ、着実な排出量削減に取り組んでまいります。